

米国での世界大会出場直後の強行日程もなんの

幸福の科学学園チアダンス部

会心演技で魅了

千葉・幕張メッセでUSA Nationals 全国大会 2015

幸福の科学学園チアダンス部（新木梨葉担当）が3月26、27の両日、千葉・幕張メッセで行われた「USA Nationals 2015」に出場。中学部の「GOLDEN GRIFINS」が、高校部の「SONNYPOM」が、それぞれ優勝した。大会出場直後の強行日程の中、会心の演技を披露した。

この大会は、世界大会の12チーム中、最後に登場した中学生「ゴールデン・グリフィンス」の石田愛理さん（当時中3）を中心に、躍動感あふれる演技を披露。与えられた5分間に魂を注ぎ、ソング「ボーン」を踊った。結果は見事優勝。石田さんは「いつも通り、めっちゃ楽しかった。この経験を出しなかつた」と、この経験が今後の生かされた」と笑った。

幸福の科学の「ゴールデン・グリフィンス」は12チーム中最高賞に輝き、キャプテンは「これだけ練習してきたのに、優勝したときは、もうほろほろ泣いてしまいました。もうほろほろ泣いてしまいました。もうほろほろ泣いてしまいました。」と涙を流した。

強豪校の意地見せた!! 中学生は優勝 高校生は7位入賞



東大合格者出すなど高い進学率 野球部は昨秋県大会8強
幸福の科学グループ・大川陽法総長が創立した幸福の科学学園中学校は3年連続で東大合格者を出すなど、進学率も高い。今年は東大2人、京大2人、防衛医大1人、慶34人などの合格実績を残した。勉学ととも盛んな部活動ではチアダンス部のほかに野球部やテニス部が強い。野球部は昨秋の新木梨葉大会ベスト8。甲子園出場を目標に躍進している。高校女子テニス部は県総合体育大会団体戦優勝、県新人テニス大会団体戦準優勝と全国での活躍が期待されている。

恵まれた環境と文武両道の精神…部員の一体感が躍進原動力
「1991年に創部した2010年のほんどがチアダンス未経験からスタートした。最初は、練習場所もなかった。最初は、練習場所もなかった。最初は、練習場所もなかった。」と、創部当時の苦労を語った。現在は、練習場所も確保され、部員の一体感が躍進の原動力となっている。

幸福の科学グループ・大川陽法総長が創立した幸福の科学学園中学校は3年連続で東大合格者を出すなど、進学率も高い。今年は東大2人、京大2人、防衛医大1人、慶34人などの合格実績を残した。勉学ととも盛んな部活動ではチアダンス部のほかに野球部やテニス部が強い。野球部は昨秋の新木梨葉大会ベスト8。甲子園出場を目標に躍進している。高校女子テニス部は県総合体育大会団体戦優勝、県新人テニス大会団体戦準優勝と全国での活躍が期待されている。



華麗な演技で7位入賞の高校生「ゴールデン・グリフィンス」

<スポーツニッポン 2015年4月8日付けより>